

73mm



10.00 not place the product near hest sources or expose it directly to open the control of the





Product Specifications



+ - Long press for 3 seconds: Next Track - Long press for 3 seconds: Pre- Short press: Increase Volume - Short press: Decrease Volume

Product Operating Instructions







1. BTモード

●スピーカーをオンにする: *◆** オタンを約3秒高級押しすると、電影が入り、音声駅内が倒れます。

○ Bluetooth投稿 ● スマートデバイスの町設定を図る。町名[ST100]を検索して機械をクリックしてください 組織が成功すると音声響的が図れます。

●再度このスピーカーを使用する際に反射接続したデバイスは自動的に再接成されます。 新しいデバイスを接続する場合は、元のデバイスの6Tを切断してから接続してください。

2. TWSモード

●同じモデルのスピールーをは管理オンにした経済で、いずれのは会のスピールーの「●「オテンセサブ
メグリップすると「ロドペアリングモードに入ります。」が近い内に下田は地に対定され、世代京の時に含 未来がかけれます。



ポータブルワイヤレスBTスピーカー モデル:ST100 取扱説明書

重要な安全情報

- の一般には100のです。 用してください。 6.取扱般明書に特別な指示がない限り、本製品の部品を分解したり交換したりしない
- 。 .万分━、液体が製品内部に入った場合は、直ちに接続を解除し、製品を使用から外し

- なが、一般の学組の様に入た場合は、直ちに設定を制御し、報点を使用から身してください。

 5. 最端を持たため、結点を批が付けたりに分からしまするは、まず場下にないことを

 5. 他に関わり来する。

 1. 他に関わります。

 1. は、他のアルリ・カウレールとならの学者がでは高速を対かないで

 2. は、場所の意思を表す。

 1. は、場所の意思を表す。

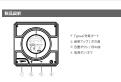
 1. は、日本の日かります。

 1. は、日本の日かります。



製品仕様

製品仕事 製品・ボータブルテイヤし及助etooth。 モアルニコンの 製力・サイズ、原文・250× H34mm 製造・15年。 ロボルコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンコンコンコンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコとり、 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよったる 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コとり、 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンのよう。 日本コンコンコとり、 日本コンコンのよう。 日本コ



ボタンと機能

スピーカーを使用しない場合は、"曲"ボタンを長押しして電源をオフにし、電力消耗を防いでください

任電力警告および自動電影オフ機能: パッテリー技量が10%以下になると、スピーカーが賢告音を発します。この場合、途やから

- . インジケーターライトの状態 ●弁電インジケーター: 弁電中はおいランフが点灯し、共電!



よくある問題と解決方法



FCC STATEMENT

- 1. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- 2. Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

Reorient or relocate the receiving antenna.

Increase the separation between the equipment and receiver.

Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF warning statement:

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.